

まほろば



2016.5
第177号

花霞に包まれて－弘前さくらまつり－

去る4月23日（土）～5月5日（木）、弘前公園を会場に「弘前さくらまつり」が開催されました。

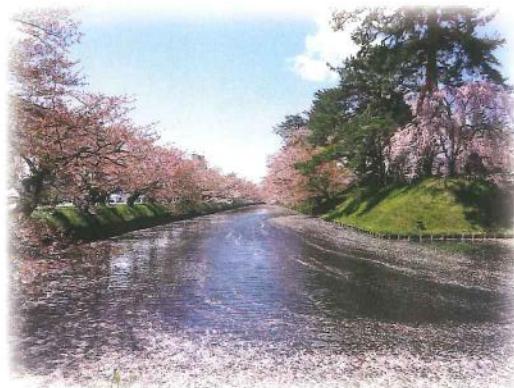
4月16日から早咲きの桜に対応した準まつり体制も含めると、平成以降最長の会期となった今年、18日に開花したソメイヨシノは23日に満開となりました。会期中20日間の人出は236万人。楚々としたソメイヨシノに艶やかな八重桜、優美な枝垂れ桜と様々な桜花に加え、今年の見所はやはり昨年曳家（ひきや）工事で移動した弘前城「天守」と「岩木山」と「桜」を一望できる展

望台でした。花曇りの多いこの時期、それでも今だけしか楽しめない景色を求め、多くの人が特設の展望台へ足を向けていました。

全国放送ですっかり有名になった「花筏（はないかだ）」も、お堀の水面の揺らめきに表情を変え、桜の花が散り始めた後も人々の眼を楽しませていました。

見上げればさくら・桜・櫻。美しい「弘前」の春です。

地域医療連携係：工藤 真淑



新任のさくら



4月1日付で看護部長として赴任いたしました。どうぞよろしくお願ひします。

久しぶりの臨床と看護部長としてのスタートに戸惑いと不安を抱きながらの日々ではあります、窓から見える悠々とした姿の岩木山に見守られ、

各部門・各部署の方々に支えられながらの毎日です。以前、同じ施設での勤務、研修や会議等で出会った看護師長、副看護師長と再会し、とても心強く感じながら病院内を廻り、会議や委員会等に出席しております。

看護部の中で、機会をとらえて伝えていることは、チーム医療を進めるうえで、看護職はいつも患者・家族の方にとってどうなのかという視点で、物事を考え、発言し、行動して欲しいということです。そのことが、地域の皆様から信頼され、必要とされる弘前病院であり続けるための私の役割と考えております。

看護部長：高橋 香

第64回 看護学校入学式

平成28年4月5日、私たち64回生41名は弘前病院附属看護学校に入学しました。看護師の道への第一歩を踏み出せたことを大変嬉しく思っています。入学から2週間が経ち、周囲の雰囲気にも慣れ、生活のリズムを掴めてきたこともあり、入学当初の緊張や不安は学校生活への期待に変わりつつあります。これから看護について学ぶにあたって、授業や実習はもちろん、日々の生活の中

での様々な体験を通して、生命の重みや看護師としての心構えなどを積極的に吸収していきたいと思っています。今年の1学年は個々のカラーが強いです。ですが、クラス目標にもある「一致団結～夢を叶えるために～」のもと、励まし合い、助け合い、41人それぞれの持つカラーが鮮やかに輝くことができるようなクラスを全員で作っていけたらと考えています。

1学年：高坂 実加



北海道東北グループ主催採用説明会に参加して

平成 28 年 4 月 28 日、仙台市国際センターにおいて平成 29 年度看護職員採用説明会が行われました。管内 22 病院が参加し、東北グループ 4 校の看護学生を前に各病院の工夫を凝らした紹介 DVD が発表されました。その後各病院のブースに分かれ、病院や看護部の概況や取り組み、どのような教育研修を行っているかなど詳しい説明をしました。

当院のブースには 60 名を超える学生が訪れ、特に助産学校の学生は当院に母子医療センターがあることから、多くの学生が先輩助産師の話に耳を傾けていました。

学生からの熱気に手応えを感じ、来春一緒に働く事を楽しみにし、会場を後にしました。

教育担当看護師長：大橋 昌子

～説明会に一緒に参加した 3 年目助産師・看護師の感想を紹介します。～

病院説明会に参加して、自分がここはどんな病院だろうかと緊張しながら様々なブースを巡った事が、昨日のことのように思い出されました。自分は何を聞きたかったんだろうと思い返しながら、勤務 3 年目としてこれまで見て、感じていることを精一杯伝えてきました。次は同じ職員としてお目にかかりたいです。

母子医療センター：尾崎 桃子

病院紹介をしたり看護学生からの質問に答えたりする中で、自分は 3 年目の看護師として様々なことを後輩へ伝えていく立場になっているのだと、実感することができました。

一緒に働くことになるかもしれない学生を前に、看護師としてお手本の一人になれるように頑張ろうと思った 1 日でした。

7 階病棟：奈良 美咲



新規採用者オリエンテーション

新たな年度を迎えた4月、当院にも多くの新たな仲間が加わりました。

初日から、新規採用者オリエンテーションが開始となり、職種を超え一堂に会した新規採用者は、病院の概要を知ることから始まり、医療安全、感染管理、更に関連する部署の役割など多くの事を学びました。

看護部では18名の新人を迎え、3日目から看護の専門的知識を学び、更に採血や注射、医療機器の操作など実際に使用している物品を使って、基

礎看護技術の演習を行いました。新人は、緊張で手が震えたり、うまくできなくて悔しそうな顔をするなど、様々な表情を見せていましたが、患者様に安全に確実に看護の技術を提供するため、皆、真剣に取り組んでいました。

弘前病院の一員として、一社会人として、今、新たなスタートを切った仲間達が、咲きほこり始めたさくらのように大きく成長していくことを願い、これからも支援していきたいと思います。

教育担当看護師長：大橋 昌子



平成28年度診療報酬改定について(2)

前回は改定の基本的な考え方について触れました。

今回は個別項目のうち、負担額が見直された「入院時食事療養」について触れたいと思います。

入院中の食事は医療の一環とされ「入院時食事療養」として健康保険が適用されますが、この一部（標準負担額）についてご負担いただいております。

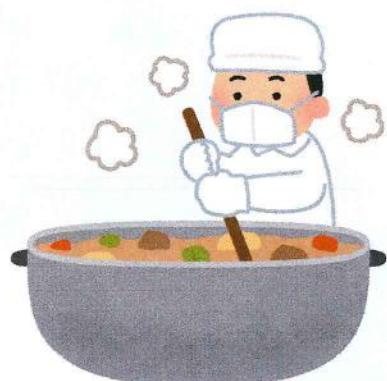
これまで食事費相当額として1食につき260円をご負担いただいていましたが、平成

28年4月1日からは、新たに調理費相当額を加え、段階的にご負担いただくことになりました。

平成30年3月31日までは1食につき360円、平成30年4月1日からは1食につき460円となります。ただし、住民税非課税世帯の方や、指定難病、小児慢性特定疾病の患者の方などの負担額は据え置かれます。

入院時食事療養の全体額に変更はありませんが、当院では食事内容の向上に常時努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

入院係長：山田 敦



研修医採用説明会（マイナビレジデンツフェスティバル）に参加して

4月24日（日）に夢メッセみやぎ（仙台市）にて、マイナビ主催のレジデンツフェスティバルが開催され、研修医の樋口直樹先生を中心に3名で参加しました。

当日は、出展者31法人・来場学生115名で、当院に興味を持っていただいた多くの学生に、当院臨床研修プログラムの説明や教育システム、城下町弘前の魅力を十分にPRできたと思います。

また、特設企画として「ランチミーティング」が実施され、研修医の樋口先生が病院選びのポイ

ントや自身の拘った点などを医学生に説明しました。

医学生は売り手市場（医学生の数く病院の募集研修医数）と言われていますが、そうであればこそ病院選びは慎重に行い病院の実態をよく知ることが大切です。

当院では病院見学を随時受け付けておりますので、病院の雰囲気や設備、それに研修医の実際の働き方など肌で感じることができますので、医学生のみなさま、どうぞ当院にいらしてください。

管理課長：平田 穣



研修医便り

皆さま初めまして。初期研修医一年目の樋口直樹と申します。

私は青森県の三沢市出身です。大学から弘前に住み、今年で弘前も7年目となりました。しかし未だに弘前には初めて見る店があり、新しくできる店があり、魅力的なこの街を楽しんでいます。

私は国立弘前病院に今年の四月からお世話になっております。新米の私にとっては初めてのことばかりで、新しいことを覚える毎日は楽しいですが、同時にやはりストレスであったりします。そろそろ働き始めて1か月となりますますがこの1か月は毎日苦戦を強いられ、かろうじて日々を生きています。まだ電子カ

ルテの操作や看護師さんとの対話に至るまで、たどたどしい状況ですが早く仕事を覚え、自信をもって患者様のために医療を行っていきたいと思っており、まずは医療に携わる方々とのコミュニケーションに力を入れていきたいです。

これから2年間皆様どうぞよろしくお願いします。

臨床研修医：樋口 直樹



外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2016年5月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子	下山亞矢子
		下山亞矢子	-	-	-	-
消化器・血液内科		鎌田耕輔	鎌田耕輔	佐竹立	鎌田耕輔	鎌田耕輔
		松木明彦	松木明彦/立田卓登	松木明彦	松木明彦	佐竹立
		佐藤年信	佐竹立	佐藤年信	秋元直樹	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	-	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	佐藤啓	佐藤工	杉本和彦
		三上珠希	岡本剛	三上珠希	岡本剛	佐藤啓
外科		田澤俊幸	中井款	田澤俊幸	中井款	三上勝也
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	櫻庭弘康	小田桐弘毅
整形外科	午前	神裕道	秋元博之	秋元博之	休診 (手術)	秋元博之
		工藤整	工藤整	神裕道		神裕道
		大学医師	大学医師	工藤整		工藤整
脳神経外科	午後	-	-	-	休診	休診
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲		熊野高行
	午後	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	●予約	佐藤正憲
		●予約	●手術/検査	●予約		●予約
泌尿器科	午前	神村典孝	神村典孝	弘前大学医師	神村典孝	神村典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		谷口綾亮	丹藤伴江	丹藤伴江	●妊娠健診 (一般外来休診)	谷口綾亮
		阿部和弘	阿部和弘	田中加奈子		松村由紀子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		武田育子/西谷友里	-	-	後藤真一	-
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	今充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

水の音 聞こえて芽吹く 檜の森

(吉川 均)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>